

2021年 1月19日
国立大学法人千葉大学
株式会社京葉銀行

学生が制作した環境意識啓発CMを 京葉銀行の全店舗のディスプレイで放映開始 ～コロナ禍で推進する「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」～

国立大学法人千葉大学の環境ISO学生委員会（以下、学生委員会）と株式会社京葉銀行（以下、京葉銀行）は、2017年度よりSDGs達成に向けて、主に環境と地域活性への貢献のため、協同でecoプロジェクトを実施しています。2021年1月20日（水）より京葉銀行店舗のディスプレイにて、学生委員会が制作したCM（環境意識啓発動画）の放映を開始しますのでお知らせいたします。

■環境意識啓発CM企画について

背景：コロナ禍でecoプロジェクトのイベントの開催が難しくなる中、今年度、学生たちは**非対面の活動で県民の皆さまに対して環境意識の啓発が可能な取り組み**を模索し、動画での啓発を提案しました。相談を受けた京葉銀行は、動画を放映する場所として同行が所有する114台のディスプレイを提供し、本企画が実現しました。

制作：学生がPowerPointスライド（25枚）を作成し、ナレーション原稿を考えました。京葉銀行の設備を利用し、ナレーションの吹き込みとBGMを入れ、動画にしました。子どもにもやさしい手描きのかわいらしい絵と学生の親しみやすい呼びかけが特長の、**4分33秒の動画**になっています。

内容：「皆さんは環境について考えたことはありますか？」という問いかけから始まり、私たちは動植物から命をいただき食べ物や薬を作っていること、一方で、森林伐採やゴミ問題などの自然環境の破壊で動植物に悪影響を与えていることを説明します。こうした環境問題を解決するための取り組みとして、本プロジェクトの主旨や学生委員会の活動を紹介したのち、「おうちでもできることは何でしょうか？」と問いかけ、ゴミ分別やエアコンフィルターの清掃といったご家庭でできる取り組みの一部を紹介します。最後に「みんなで環境を守っていこう」と呼びかけ環境意識の向上を図っています。

動画：本プロジェクトのYouTubeチャンネルでも公開 <https://youtu.be/euil3ay7MFE>

放映：京葉銀行の全営業店（110店舗）の店内のディスプレイ
同行千葉みなと本部1階ロビーのディスプレイ
同行船橋駅前支店・津田沼支店・稲毛支店の外向けディスプレイ



■企画を担当した学生の声（国際教養学部2年 西村泉美、法政経学部2年 早川咲紀）

「動画制作は初めての試みで、何からどう手を付けたら良いのか見当もつかない状態から本企画はスタートしました。銀行店舗にいらっしやった大人の方ももちろん、子どもたちにもメッセージが伝わるよう、また、親しみを感じてもらえるように、絵を柔らかいタッチにする、わかりやすい言葉を使う、など工夫を凝らし、完成させることができました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちと直接ふれあいが環境について考えることはできませんでしたが、この動画をご覧になった少しでも多くのご家庭で、環境への取り組みを実践していただけたら幸いです。」

■「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」について

千葉大学と京葉銀行は2012年に包括連携協定を結んでおり、2017年から「ecoプロジェクト～7色の虹を千葉から未来へ」を実施しています。本プロジェクトでは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、「地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献したい」という想いで、千葉県内の多くの皆さまを対象に、環境意識の啓発活動を実践しています。（公式サイト https://www.keiyo bank.co.jp/ir/eco_project/）

取材のお申し込み：本件に関するお問い合わせ
国立大学法人千葉大学 環境ISO事務局 TEL:043-290-3572
京葉銀行 経営企画部 広報グループ TEL:043-306-8065